

あなたの声を市政に 市政くらしの要求アンケート

集計・報告集

1 目的

私たち「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」は、市民が暮らしやすい和歌山市にするための運動に取り組んでいます。

今年の夏に和歌山市長選挙（8 月 14 日告示・21 日投票予定）が、秋には知事選挙が行われます。市民の要求・願いを実現していくためにも、市長・知事選挙は重要な取り組みとなります。

もっと活気があって住みよい大好きな和歌山市にするため、市民の声を集め、要求をつくり上げるために行ったものです。

2 調査期間

2021 年 11 月から 2022 年 1 月末。

3 調査集計数

1 月末までのWEBアンケート回答（50 人）と、2 月 15 日までに「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」事務局に郵送・FAX等で届けられたもの（371 人）、合計 421 人（内：市内 362 人、市外 54 人、無記入 5 人）分のアンケートを集約しました。

4 集計方法

全体の単純集計およびクロス集計の結果を報告します。記述分につきましては、特徴的なものや同一内容のものをまとめて掲載します。

5 アンケート用紙は最終の 2 ページに掲載しています。

活気ある住みよい和歌山市をつくる会：住所・連絡先

〒640-8281 和歌山市湊通丁南 1 丁目 1-3 名城ビル 2 階

和歌山地区労働組合協議会内

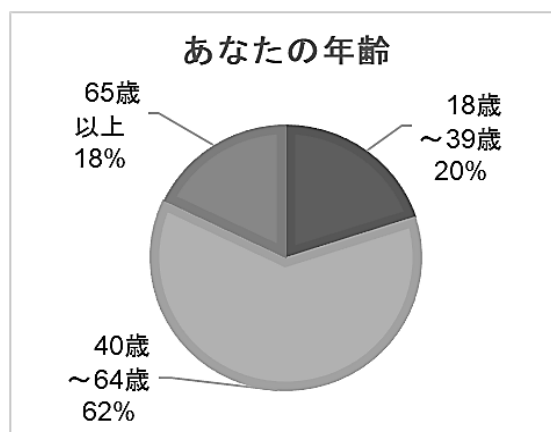
TEL：073-436-3578

1. 基礎的データより

(1) 年齢 (人)

18歳～39歳	84
40歳～64歳	260
65歳以上	75
計	419

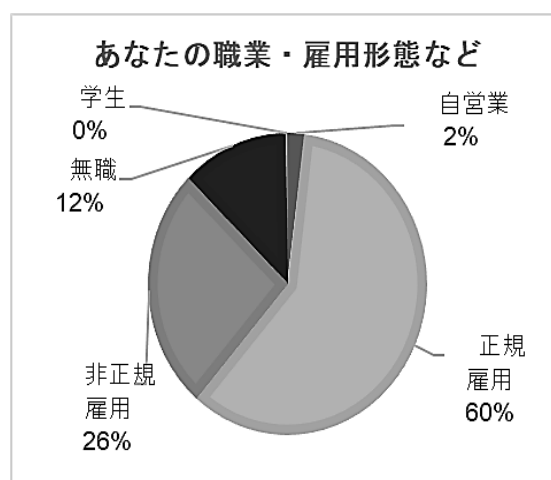
「18 歳～39 歳」84 人 (20%)、
「40 歳～64 歳」260 人 (62%)、
「65 歳以上」75 人 (18%) です。



(2) 職業・雇用形態など (人)

自営業	8
正規雇用	249
非正規雇用	109
無職	52
学生	1
計	419

「自営業」8 人 (2%)、「正規雇用」
249 人 (60%)、「非正規雇用」109 人
(26%)、「無職」52 人 (12%)、「学
生」1 人 (0.2%) です。



(3) 年齢別の職業・雇用形態など

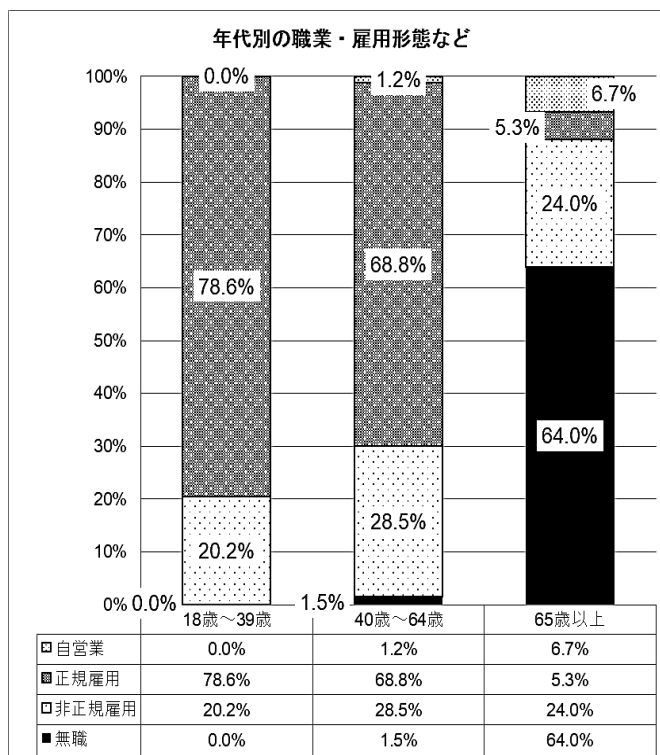
(学生選択者が 1 名なので省いていま
す。)

18 歳～39 歳では、「正規雇用」
78.6%、「非正規雇用」20.2%と
なっています。

40 歳～64 歳では、「正規雇用」
68.8%、「非正規雇用」28.5%と
なっています。

65 歳以上は、「無職」64.0%、
「非正規雇用」24.0%となってい
ます。

全ての年代で「非正規雇用」が
2 割台となっています。



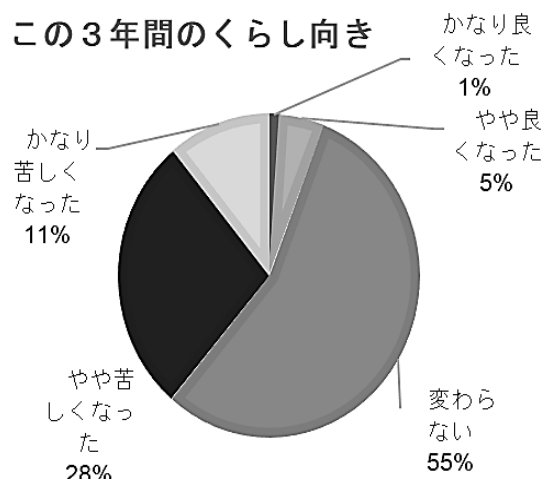
2. 問2「くらし向きについて」より

(1) この3年間のくらし向き (人)

かなり良くなった	4
やや良くなった	18
変わらない	207
やや苦しくなった	104
かなり苦しくなった	41
計	374

「変わらない」55%、「やや苦しくなった」28%、「かなり苦しくなった」11%、「やや良くなった」5%、「かなり良くなった」1%の順となっています。

この3年間のくらし向き



(2) 年代別のこの3年間のくらし向き

年代が上がるにつれて、「やや苦しくなった」「かなり苦しくなった」が増えています。

◆65歳以上の60.0%の方が、「苦しくなった」と答えています。

苦しくなった理由として、ほとんどの方が年金の減額、物価の上昇と記述しています。

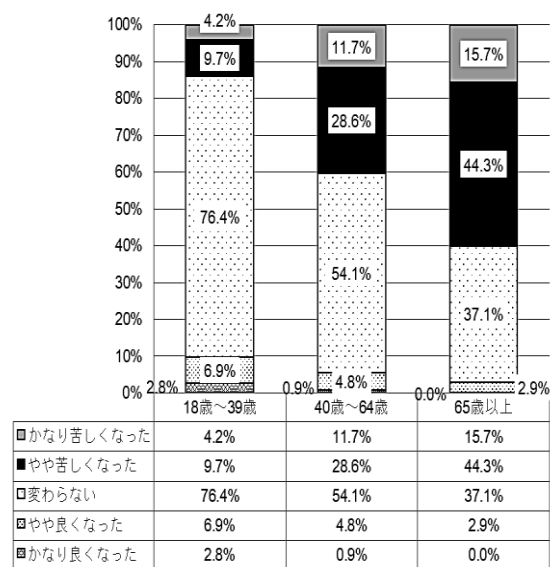
「年金生活者で貯金を切り崩している」

「医療にかかる費用が年々増えている」

「生活圏に店が無くなって交通費がかさむ」

「物の値段が少しずつ上がっている」

年代別のこの3年間のくらし向き



(3) 職業・雇用別のこの3年間の

くらし向き (学生選択者が1名なので省いています。)

◆自営業、無職の6割以上、非正規雇用の4割超の方が「苦しくなった」と答えています。

苦しくなった理由の記述として

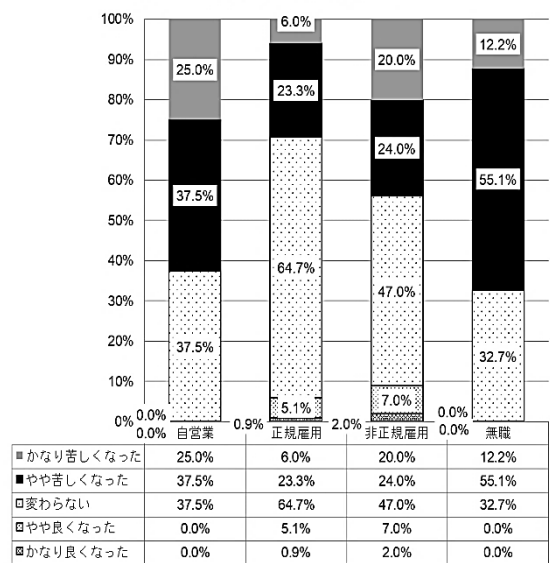
「コロナで、売り上げ激減です」

「子どもの仕事が少なくなった」

「ガソリンが値上げして苦しい影響する」

「医療・介護保険料が高くなった」

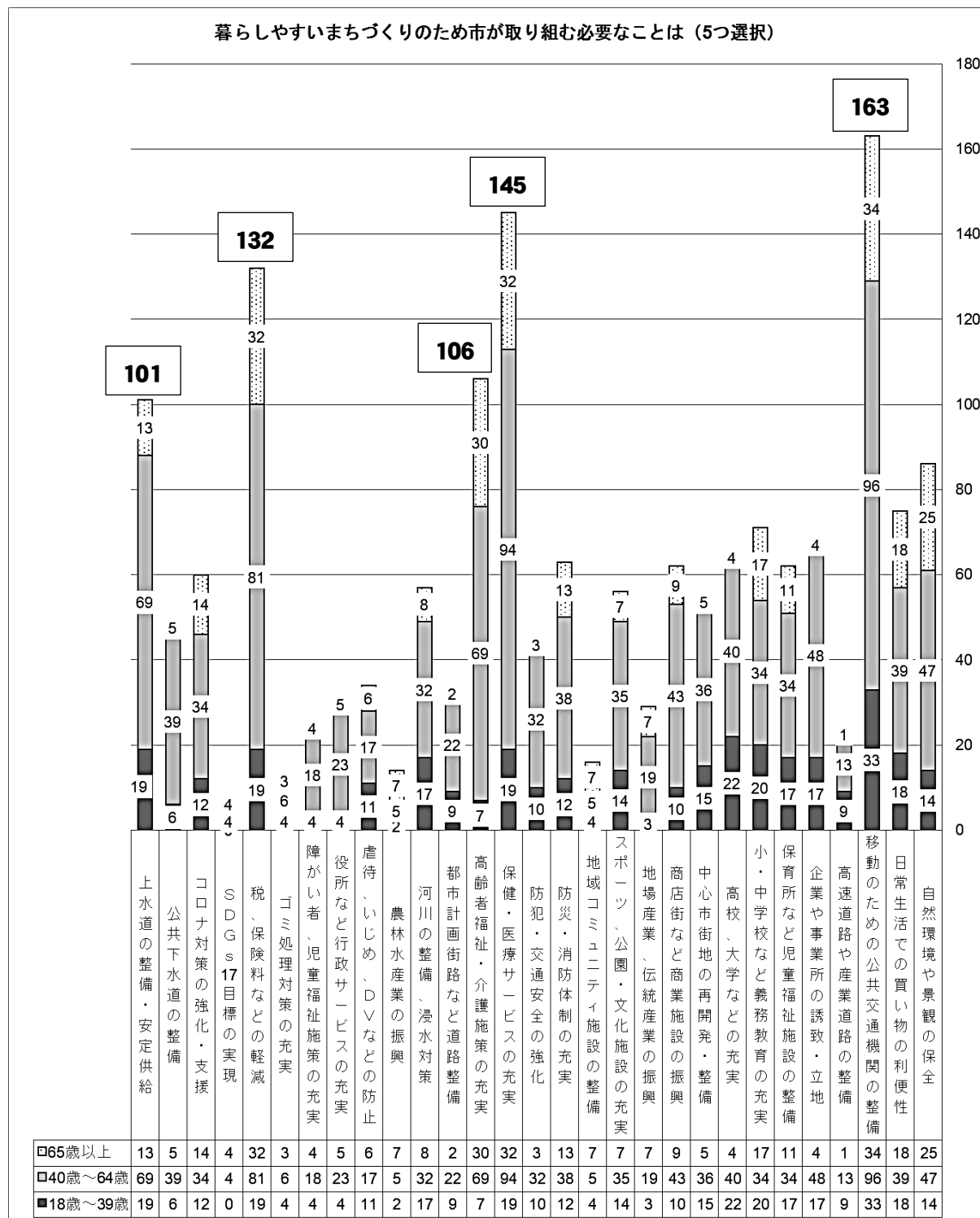
職業・雇用別のこの3年間のくらし向き



3. 問 10「暮らしやすいまちづくりのため、市が取り組む必要なことは」より

問 10 の 29 項目中 5 つ選択では、1 位は「移動のための公共交通機関の整備」で 421 人中、163 人の方が選んでいます。2 位は「保健・医療サービスの充実」145 人。3 位は「税、保険料などの軽減」132 人。4 位「高齢者福祉・介護施策の充実」106 人、5 位「上水道の整備・安定供給」101 人となっています。

次のページから、年代別等で、もう少し詳しく分析してみます。



（１）「移動のための公共交通機関の整備」が、全ての年代で１位

右の３つのグラフのとおり、18 歳～39 歳（84 人中 33 人）39.3%、40 歳～64 歳（260 人中 96 人）36.9%、65 歳以上（75 人中 34 人）45.3%と、全ての年代で４割前後の方が公共交通機関の整備が必要と答えています。

◆18 歳～39 歳

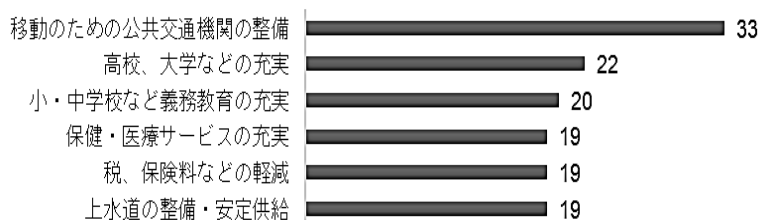
「電車とバスの乗り継ぎを良くしてほしい」「バス料金が高く、バス停少ない。周遊バスを格安で利用したい」「高齢者の交通事故が増えている。公共交通の整備を」

◆40 歳～64 歳

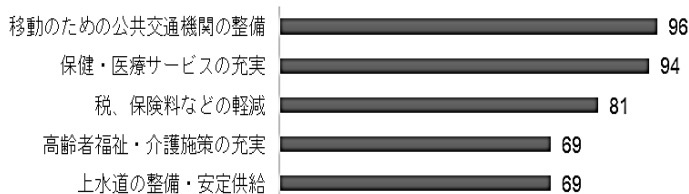
「バス路線維持のため補助金を増額してください」「バスの減便、路線廃止で困っている」「買い物をしやすくするための移動手段の整備をお願いしたい」「高齢者が車を運転しなくても良いように、家の近くまで来るバスやタクシー券などを考えてほしい」

◆65 歳以上 「バス停が無くなって買い物医療難民で困っている」「道路が狭く自転車・歩行者・電動バイクなど安心・安全に移動できない。バスの運行がなくなり試みのバスが走っているがバスだけでなくタクシーをもっと工夫して活用できないか」「路線バスが廃止された。タクシー利用券を毎年支給してほしい」「コミセンやスーパーまでのアクセスがない」「路線バスがなくなり移動困難」

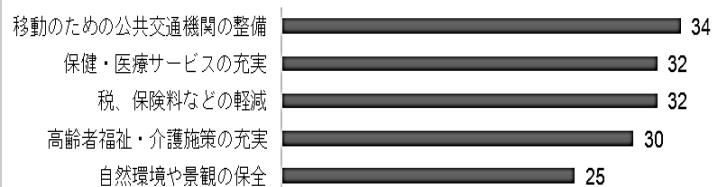
18歳～39歳が選んだ、暮らしやすいまちづくりのため市が取り組む必要なこと上位5位（5つ選択）



40歳～64歳が選んだ、暮らしやすいまちづくりのため市が取り組む必要なこと上位5位（5つ選択）



65歳以上が選んだ、暮らしやすいまちづくりのため市が取り組む必要なこと上位5位（5つ選択）



（２）「保健・医療サービスの充実」は、40 歳以上で２位となっています。

◆18 歳～39 歳 「子ども医療の所得制限を見直してほしい」「コロナで病院の病床が埋まったので、病院のベッド数を削減しないでほしい」「病院に行くまでの交通手段の便が悪く行きにくい」

◆40 歳～64 歳 「高校生までの医療費を無償にしてほしい」「経済的に困難な方が多く医療費も払えない」「病院に行くための交通をもっと充実してほしい」「大きな病院は退院させられる」

◆65 歳以上 「年間の医療費の負担が大きい」「病院までの交通が不便。高いがタクシーを利用している」「後期高齢者医療、今は1割負担ですが、来年から2割負担になる。大変困ります」

（３）「税、保険料などの軽減」についても、40 歳以上で 3 位となっています。

- ◆18 歳～39 歳 「市民税・軽自動車税・水道料金の軽減」「学費の自己負担額の割引や免除」「介護保険料が高い」「子ども医療助成制度を中学校までじゃなくもっと伸ばしてほしい」
- ◆40 歳～64 歳 「国保料の引き下げ」「消費税減税」「市・県民税、水道料金の軽減」「子どもの医療費助成の拡大」「介護保険料・利用料が高い」「医療費が高い」
- ◆65 歳以上 「なんと言っても国保料を下げしてほしい」「介護保険料の高いこと、高いこと、安くしてほしい」「市税・水道料金の軽減」「老人の医療費は昔のように無料にしてほしい」

（４）4 位の「高齢者福祉・介護施策の充実」については、40 歳以上が 4 位であるが、18 歳～39 歳では 21 位と低位となっています。

- ◆18 歳～39 歳 「介護保険料が高い高い」「利用料が高い」「施設を増やして高齢者の入所がスムーズになるようにしてほしい」
- ◆40 歳～64 歳 「安価で安心して利用できる高齢者施設の充実」「介護保険値上がりで大変」「介護保険料、利用料が高い」「介護の仕事はきつい賃金が安いので介護職員不足」
- ◆65 歳以上 「無年金なので介護保険料が高く感じる」「とにかく介護保険料が高い。むしり取られている感じ」「利用料を払い続けられるか不安」「親身になってくれる人、機関がない」

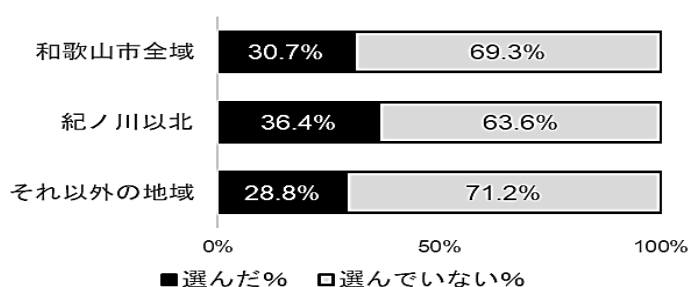
（５）5 位の「上水道の整備・安定供給」については、64 歳以下が 5 位であるが、65 歳以上では 10 位となっています。

＊六十谷水管橋崩落・断水によることで、紀の川以北地域の方が「上水道の整備・安定供給」を多く選んでいるのか、分析を行いました。

和歌山市全域では 30.7%の方が「上水道の整備・安定供給」の項目を選んだ人です。紀の川以北地域に住んでいる方は 36.4%、それ以外の地域に住んでいる方は 28.8%でした。

紀の川以北地域のほうがそれ以外の地域より 7.6%多い結果となりましたが、紀の川以北地域の方に大きく偏って「上水道の整備・安定供給」を選んだということではなく、和歌山市全域の方が選んだという結果となっています。

紀の川以北地域とそれ以外の地域で、「上水道の整備・安定供給」の選択率に差があったか。



- ◆18 歳～39 歳 「あの橋1本で水を送っていたとは信じられない」「点検を目視だけで行っていたとは大問題」「他は大丈夫なのか不安です」

- ◆40 歳～64 歳 「災害でも無いのに水管橋崩落って根本的におかしい」「ライフラインの寿命が把握、対応できているか」「和歌山市北部にも浄水場を作してほしい」「水道管の老朽化、心配」

- ◆65 歳以上 「断水でライフラインの脆さ弱さが浮き彫りになった」「北部地域に浄水場が欲しい。1週間でも断水生活は苦しかった」

（６）６位として「自然環境や景観の保全」となっています。

- ◆18 歳～39 歳 「川のゴミが多く感じる。なんとかならないか」
- ◆40 歳～64 歳 「郊外の無秩序な住宅地開発をやめるべき。農地がなくなり生物多様性がなくなっている」「山地の手入れ不足で災害に脆弱になっている」「SDGS14 豊かな海を守ろう。釣り場のトイレの修繕や、ゴミ捨て場を作してほしい」
- ◆65 歳以上 「緑道や桜など少なくなっている。市民の憩い場所を広げ植樹に力を入れてほしい」「樹木の大切さ、自然保護など市に専門家はいないのか」

（７）18 歳～39 歳では、「小・中学校など義務教育の充実」「高校、大学などの充実」が上位 2 位・3 位に入っています。これは他の年代と大きく違います。

- ◆18 歳～39 歳 「中学校の給食改善」「大学の学費の無償化」「学童保育の利用料軽減」「発達障害の子どもが利用できる施設を増やしてほしい」「制服や学校物品などの費用の支援」
- ◆40 歳～64 歳 「市立高校の納付金がコンビニ対応できない」「高校の授業料無料化。小中学校の給食費無料化。高校までの医療費無料化」「学童の始まり終わりの時間を長くしてほしい」「学童保育をもっと利用しやすく、一日ごとの預かりなど」「小中学校のトイレの改修を」
- ◆65 歳以上 「大学卒業してからも奨学金の返済が大変です」「せめて高卒までの学費などなんとかしてほしい」

4. 記述回答の特徴点 【（ ）内数字は、回答 421 人中の各問への記述人数】

問 3 「あなたからみて、和歌山市の良いと思う点」(244 人)

- ◆18 歳～39 歳 「人が多すぎず少なすぎず、ゆったりしてる感じ」
- ◆40 歳～64 歳 「自然が一番ですね。この自然環境はこわしてほしくない。海・山・川・温泉。大学も誘致してきているのでこれからが楽しみです。知人も小学校の子どもさんを行かせたいと今からがんばっています。みかんやうめ、かき、他(最近、牡蠣の養殖も耳にします)」
- ◆65 歳以上 「自然が多くゆったりする。大阪からの帰り和歌山市駅に着くとほっとする」

問 4 「コロナのもと、あなたの生活、市内の雇用や、あなたの職場を応援するため、市や国にどのような支援・施策を望みますか」(229 人)

- ◆18 歳～39 歳 「税金を減らすこと。特に水道などのインフラ系の整備をしっかりとしてほしい」「収入減や低所得者に対する保険料などの減免と住まいや食糧の配布」
- ◆40 歳～64 歳 「コロナと関係しているかわかりませんが、消費税でも減らしてほしい。すべての税金、社会保険高すぎます」「子育てに必要な教育費を無償化してほしい」
- ◆65 歳以上 「税金に不平等がある(金持ちにはそれにあつた税金を)。水管橋の崩落による水道料金値上げは許されない。国からの支援がほしい」「無料のPCR検査の予算を」

問 5 「生活するにあたって、困っていること、改善してほしいこと」(190 人)

◆18 歳～39 歳 「通勤している道幅が狭いので、朝・夜も車の量が多いので、自転車だとスムーズにいけるが逆に怖い。自転車も歩行者も通れる道があれば良いのに。(遊歩道)」
「バスの本数が少ない。小学生が使っていたバスが赤字で廃止になり不便になったので改善できないだろうか」

◆40 歳～64 歳 「いずれ車の免許を返納することを考えると、公共交通機関がとても不便で心配です」「合併浄化槽を使っている。元々3 人家族だったが今は一人住まい。年 1 回の汲み取り金額が浄化槽サイズによって決まっているようなので非常に高い。なんとかしてほしい」

◆65 歳以上 「農家が安心して生活できるようコメの買い取りを国がしてほしい。地産地消の物を大事にする。家に車のない高齢者の人の移動がしやすいように移動バスかタクシーの補助金を出してほしい。移動図書館の車をもっとふやして」「店が閉じてまた、交通手段がなくなり買い物に行くのに困る声を聞く」

問 6 「子育てするにあたって、困っていること、改善してほしいこと」

(112 人)

◆18 歳～39 歳 「学童保育の利用料。発達障害の子どもが利用できる施設をもっと増やしてほしい。病院も増やしてほしい」「制服や学校物品などの費用の支援」

◆40 歳～64 歳 「保育、教育にかかる費用の大半を無償化し、お金の心配をしないで安心して子育てできる環境を整えてほしい」「令和 3 年 8 月に第 4 子を出産し、和歌山市の政策で『しあわせたく3ギフト』で木のおもちゃをいただきました。家にはすでに、どれも似たようなおもちゃがあり、なぜこの木のおもちゃが第 3 子以降にプレゼントされるのか、少し不思議でした。平成 29 年 9 月に第 3 子を出産し、同じ『しあわせたく3ギフト』をいただいた際は、カタログギフトだったので、第 3 子用に不足していたベビー用品を準備してあげられた過去があります。せっかくの政策ですので、それぞれの家庭が必要なものを選べる『しあわせたく3ギフト』であると、よりたくさんの人に喜んでもらえるのではないかと思います」

◆65 歳以上 「学校給食の中身と量が悪化している。これで育ち盛りの子に満腹感がえられるのか？一度調査してほしい。あまりにもお粗末な分量と中身になっている。子どもたちは分量が少ないので、お代わりなんてできないと言う」

問 7 「医療・介護で、困っていること、改善してほしいこと」(179 人)

◆18 歳～39 歳 「公共交通機関が不十分なので病院が遠く感じる」「こども医療助成制度を中学までじゃなくてもっと伸ばしてほしい」

◆40 歳～64 歳 「通院が大変」「母が介護を受けています。年金も少なく、国保料、介護保険料・利用料を払うのがいっぱいいっぱいです」「介護用品が高い」「高齢者を介護する人の負担が大きすぎ」

◆65 歳以上 「10 月に入院したが4人部屋でも差額ベッド料がとられるのはおかしい」「自分が介護を必要となった時、果たして利用料を払い続けることができるか不安」「後期高齢者保険料が高い。介護保険料が高くてびっくりです」

問 8 「市の災害対策（防災）について不安に感じていること」（204 人）

◆18 歳～39 歳 「本当に災害が起きた時の備えができていないのか不安。設備面でも体制面でも」「学校などの避難所の老朽化」「防災無線が聞き取れない。自分で見なければ気づかない」

◆40 歳～64 歳 「防災スピーカー聞きづらい。何を言っているのかわからない」「情報の伝達や広報の仕組みが整備されていないことが不安」「いざとなったら人員が確保できているか心配」「避難区域、避難所がわからない。ハザードマップわかりにくい」

◆65 歳以上 「避難場所の食糧や毛布など備品の確保、プライバシー、感染対策が不安」「高齢者や体の不自由な方のための避難訓練が行われているのかわからない」「屋外放送まったく聞こえない。災害時は窓を閉めているため役に立たない」

問 9 「IRカジノ誘致について」（248 人）

◆18 歳～39 歳 「カジノをして借金におちいる人や環境や治安が悪くなる可能性があるため反対」「カジノに対しては反対ではない」「賛成」「無くても困らないが、あれば観光業が潤う」「治安・子どもたちへの影響が気になるのでやめていただきたい」

◆40 歳～64 歳 「百害あって一利なし、絶対反対」「賭博であり、悪以外にも生み出さない」「和歌山市が元気になって賑わうのであればいい事だと思います」「雇用が生まれるのは良いが治安が不安です」「自然が豊かな和歌山市にIRは似合いません。和歌山らしい魅力を世界に広めてください」

◆65 歳以上 「絶対反対。人の不幸のお金、ばくちで行政を行うべきでない」「聖地の多い和歌山県のイメージが壊れる」「私たちは、ずっと、子や孫も和歌山で暮らす。カジノの街、和歌山には絶対しない」

問 10 の選択した項目についての具体的な意見・要望（101 人）

◆18 歳～39 歳 「電車とバスの乗り継ぎをよくして、その数を増やしてほしい」「バス代金が高い。バス停少ない。周遊バス格安で利用したい」「若者でも出店しやすいように補助金などがあればお店が増える」

◆40 歳～64 歳 「郊外の無秩序な住宅地開発を止めるべき。用水路・ため池の管理不足、山地の手入れ不足の解消を」「豊かな海を守るためトイレを修繕したりゴミ捨て場を作ったりしてほしい」「バス路線維持のために補助金の増額を」「公共交通機関の復活またはコミュニティバスを」

◆65 歳以上 「空き家対策を」「若い人が働く場所、大きなテーマパークなど作る工夫を」「誰でも入りやすい介護施設を多く作ってほしい」「まちづくりは障害者の安全を守る立場

で考えること」「公共交通機関が減らされている」「バスが少なくなったり無くなって本当に不便を感じています」

以上

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回、郵送・FAX等での返信だけでなく、初めてWEBアンケートにも取り組みました。アンケートの一言欄に、WEBでは答えられない方たちがいるとの記入もありました。これからも、郵送・FAX等での返信とWEBの活用で、より多くの方の意見を取り入れたいと思います。また、問10の「29項目中5つの選択を」では、5つでは少なすぎるとの意見をいただきました。つくる会事務局での今後の検討課題とさせていただきます。

活気ある住みよい和歌山市をつくる会

次ページにアンケート用紙を掲載しています。

市政アンケート

あなたの声を市政に
市政くらしの要求アンケート

「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」にご参加のみなさん。
2022 年の夏に和歌山市長選挙が、秋には知事選挙が行われます。
「つくる会」は、市民が暮らしやすい和歌山市にするための運動にとりこんでいます。
市長・知事選挙は、市民の要求・願いを実現していくためにも重要なとりくみとなります。
そこで、市民の声を要求にするため『市政くらしの要求アンケート』にとりくむことと
しました。
みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

このアンケート用紙ご利用の方は、記入後のアンケート用紙を 2022 年
1 月 31 日までに最終ページの住所（つくる会事務局）に郵送していただくか、
貴団体の役員にお渡しください。
または、次の URL（ <https://forms.gle/tllbZUpmTKLFP97> ）か、右上
の QRコードから Webアンケートに直接答えていただいても結構です。

活気ある住みよい和歌山市をつくる会

問1 あなたについて（あてはまる番号を、○で囲んでください）

【1】 あなたの年齢

1 18 歳～39 歳 2 40 歳～64 歳 3 65 歳以上

【2】 あなたの職業・雇用形態など

1 自営業《農林水産業、商工業、サービス業、その他》

2 正規雇用《民間企業、公務員、その他》

3 非正規（アルバイト・パート・派遣等）雇用《民間企業、公務員、その他》

4 無職

5 学生

【3】 あなたのお住まい

1 和歌山市内《小学校区名をお書きください： 小学校区》

2 和歌山市外《市町村名をお書きください： 》

1

市政アンケート

問2 くらし向きについて

【1】 あなたの世帯の暮らし向きは、この3年間（2018 年～）でどうなりましたか？
（あてはまる番号を1つ選んで、○で囲んでください）

1 かなり良くなった 2 やや良くなった 3 変わらない

4 やや悪くなった 5 かなり悪くなった

【2】 その理由は何だと思いますか。よろしければお書きください。

記入欄：

問3 あなたからみて、和歌山市の良いと思う点を、いくつでもお書きください。
（例：山や海があって自然が残っている。買い物か便利。）

記入欄：

問4 コロナのもと、あなたの生活、市内の雇用や、あなたの職場を応援するため、
市や国にどのような支援・施策を望みますか。できるだけ具体的にお願いします。
（例：市税・水道料金・保険料の軽減。利用しやすい支援策。）

記入欄：

問5 生活するにあたって、困っていること、改善してほしいことをお書きください。
（例：近くに食料品を買うところがない。家の前の道路に雨で水がたまる。）

記入欄：

2

11

市政アンケート

問6 子育てするにあたって、困っていること、改善してほしいことをお書きください。
(例：保育園の待機、学童保育が利用しにくい。気軽に相談できる場が欲しい。)

記入欄：

問7 医療・介護で、困っていること、改善してほしいことをお書きください。
(例：国保料、介護保険料・利用料が高い。お医者さんまで遠い。差額ベッド料が払いにくい。)

記入欄：

問8 市の災害対策(防災)について不安に感じていることを、できるだけ具体的に
書きください。(例：避難所での感染対策。開発による山崩れ。河川の水害。
避難区域・避難所がわからない。ハザードマップがわかりにくい。)

記入欄：

問9 IRカジノの誘致について、あなたのご意見をお書きください。

記入欄：

裏面につづく。

3

市政アンケート

問 10 和歌山市について、暮らしやすいまちづくりのために、今、市が取り組む必要
なことは何とお考えでしょうか。(必要だと思うことを5つ選んで、○で囲ってください)

1 自然環境や景観の保全	16 保健・医療サービスの充実
2 日常生活での買い物の利便性	17 高齢者福祉・介護施策の充実
3 移動のための公共交通機関の整備	18 都市計画街路など道路整備
4 高速道路や産業道路の整備	19 河川の整備、浸水対策
5 企業や事業所の誘致・立地	20 農林水産業の振興
6 保育所など児童福祉施設の整備	21 虐待、いじめ、DVなどの防止
7 小・中学校など義務教育の充実	22 役所など行政サービスの充実
8 高校、大学などの充実	23 障がい者、児童福祉施策の充実
9 中心市街地の再開発・整備	24 ゴミ処理対策の充実
10 商店街など商業施設の振興	25 税、保険料などの軽減
11 地場産業、伝統産業の振興	26 SDGs17 目標の実現
12 スポーツ、公園・文化施設の充実	27 コロナ対策の強化・支援
13 地域コミュニティ施設の整備	28 公共下水道の整備
14 防災・消防体制の充実	29 上水道の整備・安定供給
15 防犯・交通安全の強化	

選択した項目について、具体的なご意見・ご要望があれば、なんでもお書きください。

記入欄：

ご協力ありがとうございました。

もしよろしければ、あなたの氏名と連絡先をお書きください。
氏 名：
連絡先：

活気ある住みよい和歌山市をつくる会：住所・連絡先
〒640-8281 和歌山市湊通丁南1丁目1-3 名城ビル2階
和歌山地区労働組合協議会内 Tel.:073-436-3578

4

12